

指導と評価の年間計画・評価規準の作成について

1 2 情 報

<目次>

I	「指導と評価の年間計画・評価規準の作成の手引き」	P 1～2
II	「指導と評価の年間計画」(社会と情報) <例>	P 3
III	「評価規準と単元計画」(社会と情報) <例>	P 4～5
IV	「学習指導案」(社会と情報) <例>	P 5～6

I 「指導と評価の年間計画」及び「評価規準と単元計画」の作成の手引き

1 「指導と評価の年間計画」について

これは、次の2の「評価規準と単元計画」の全単元について、その概要を記述したものである。生徒の学習活動に対するより適正な評価、及び生徒の学習の改善に生かされる評価（指導と評価の一体化）の実現を目指して作成する。

これまで作られてきた指導計画は、多くの場合、学習内容（指導内容）を単に1年間の授業時間数に対して配分しただけに留まっていたが、この「指導と評価の年間計画」では、各授業ごとの学習活動のポイント、観点別の評価のポイント、評価方法、評価規準も含めて記述する。

2 「評価規準と単元計画」について

学習指導要領に基づく「評価規準と単元計画」は、言い換えれば、評価規準を盛り込んだ「単元ごとの指導と評価の計画」である。次の内容構成で作成する。

○科目全体の「目標」「評価の観点の趣旨」を示す。

- ・科目全体の目標…学習指導要領に示す当該科目の目標
- ・科目全体の評価の観点及びその趣旨
…「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」参照

○内容のまとめりごとの「目標」「評価規準」を示す。

- ・内容のまとめりごとの目標
…学習指導要領の「内容」の(1)(2) …の大項目ごとの目標を記す。
- ・内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項
…内容のまとめりごとに4観点別に示した評価規準を記す。「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」参照

※「内容のまとめり」とは、学習指導要領に示された内容に基づいており、使用する教科書等に基づく「章」とは必ずしも一致しない場合がある。

◎単元ごとの「目標」「評価規準」を示す。

- ・単元ごとの目標…使用する教科書等に基づき単元ごとに示した目標。学習指導要領の項目ごとのねらいをもとに記載する。
- ・単元ごとの評価規準
…単元ごとに4観点別に示した評価規準。「内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項」を単元の内容に即して具体化したもの。

※「単元」とは、ほとんどの教科書の「節」に該当するものである。

◎実際の授業ごとの「評価規準」「評価方法」「指導と評価の計画」を示す。

- ・学習活動における具体的評価規準と評価方法
…学習活動ごとに4観点別に示した評価規準と評価方法。「単元ごとの評価規準」を学習活動の内容に即して具体化したもの。評価方法については、学習活動の特質、評価の観点や評価規準、評価の場面や生徒の発達の段階に応じて、観察、生徒との対話、ノート、ワークシート、学習カード、作品、レポート、ペーパーテスト、質問紙、面接などの様々な評価方法の中から、その場面における生徒の学習状況を的確に評価できる方法を選択していく。
- ・指導と評価の計画
…単元の目標を実現するために、授業ごとの「主題」と「主な学習活動」、「具体的評価規準との対応」を示す。「具体的評価規準との対応」は、上記の「学習活動における具体的評価規準と評価方法」に対応した番号を各観点の欄に記す。

単元ごとの指導と評価の計画<例>

1 科目『○○○○』の目標

○○○○○

2 科目の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○○○○○○○○○ ○○○	○○○○○○○○○ ○○○	○○○○○○○○○ ○○○	○○○○○○○○○ ○○○

3 「○○○○」の目標

○○○○○

4 「○○○○」の評価基準に盛り込むべき事項

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○○○○○○○○○ ○○○	○○○○○○○○○ ○○○	○○○○○○○○○ ○○○	○○○○○○○○○ ○○○

5 単元指導計画

単元名	○○○○○	時間数	○
-----	-------	-----	---

◇ 単元の目標

○○○○○

◇ 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○○○○○○○○○ ○○○○	○○○○○○○○○ ○○○○	○○○○○○○○○ ○○○○	○○○○○○○○○ ○○○○

◇ 学習活動における具体の評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	① ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	① ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	① ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○
②	② ○○○○○ ○○○○○	②	② ○○○○○ ○○○○○

◇ 指導と評価の計画

授業番号	単位時間数	主題	学習目標と主な学習活動	具体的評価規準との対応(番号)				備考
				関	思	技	知	
1	○	← 割当てる授業時間数を記す	単元の目標を実現するための具体的な学習活動の要点を記す	①			①	上記「学習活動における具体の評価規準と評価方法」の該当項目番号を記す
2	○				①	②	②	

Ⅱ 指導と評価の年間計画(社会と情報) <例>

科目名：社会と情報

岐阜県立 ○○ 高等学校

目 標 【学習指導要領】	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。			関心・ 意欲・ 態度	思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解	
到達目標に向けての具体的な取り組み 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事例を取り上げることで、理解しやすい説明を行う。 実習を通して体験的な理解をさせる活動を多く取り入れる。 情報通信ネットワークを活用した課題提出やコミュニケーション、生徒同士の相互評価を取り入れる。 情報モラルを身に付けるための指導を、さまざまな場面で行う。 							
月	単元名	使用教科書項目	時	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価方法			
	授業ガイダンス		1	・学習内容及びコンピュータ教室の使い方の説明並びに学習履歴の把握	行動観察	○		
4月	1 情報社会	1 情報と情報社会	1	・データ、情報、知識の違いを理解する。	行動観察	○		
		2 情報社会の光と影	1	・情報化の光と影について理解し、具体例を示すことができる。	ノート	○	○	
	2 情報社会の個人	1 個人情報とその保護	1	・個人情報の概念や、個人情報保護について理解している。	行動観察	○		○
		2 情報を扱う責任とモラル	1	・情報を扱う責任とモラルを持って、チェーンメールに正しく対処することができる。	提出課題		○	○
5月	3 情報とメディア	1 情報の特徴	1	・情報の意味及び特徴について理解する。	行動観察	○		○
		2 情報とメディア	1	・さまざまなメディアの特徴、分類、特性について理解する。	提出課題	○	○	○
		3 情報の信憑性と信頼性	1	・情報の信憑性、信頼性を理解して、情報を利用できる。				○
		4 メディアリテラシー	2	・メディアによる情報の意図の違いについて理解し、伝えたい情報を適切な情報メディアを選択して取り扱うことができる。		○	○	○
	第2章 デジタル化							
	1 デジタルと情報機器	1 アナログとデジタル	1	・アナログとデジタルの概念とその相違を理解する。	行動観察	○		○
		2 情報機器	2	・情報機器の種類と特徴について理解する。	ノート	○		○
6月	前期中間考査		1		考査			○
	2 デジタル化	1 2進数と情報量	1	・情報量を適切な単位で表現できる。	行動観察		○	○
		2 数値・文字の表現	2	・2進数・10進数・16進数の相互変換の方法を理解する。	提出課題	○		○
		3 音声のデジタル化	1	・情報のデジタル化の原理を理解する。		○		○
		4 画像のデジタル化	2	・画像や動画の基本的な編集ができる。			○	○
		5 情報のデータ量	1	・音声、動画等のデータ量を計算できる。		○		○
7月	1 表現の工夫	1 わかりやすい情報伝達	1	・情報を伝達する際の注意事項について理解する。	行動観察	○		○
		2 企画書の作成	2	・目的や対象を明確にして、既存のチラシを改善できる。	提出課題		○	○
8・9月	2 表計算ソフトの利用	1 データの入力	1	・表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ、関数を利用できる。	行動観察	○		○
		2 グラフの作成	2	・課題に応じて利用するグラフを適切に選択できる。	提出課題		○	○
	3 データの抽出	1	・目的に応じてわかりやすいグラフで表現できる。			○	○	
	4 関数と引数	1	・条件に合わせて関数を選択して利用するための知識をもつ。			○	○	
	5 データの検索	2	・積極的に演習課題に取り組む。			○	○	
3 プレゼンテーション	1 プレゼンテーションとは	2	・プレゼンテーション制作の流れを理解する。	行動観察	○		○	
	2 多様な表現メディアの利用	2	・画像、音声、アニメーションなど、多様な表現メディアを利用できる。	提出課題		○	○	
前期末考査		1						
10月	4 Webページの利用	1 Webサイトの制作	3	・HTMLのタグを使って、Webページにテキストや画像などを入れることができる。	行動観察	○		○
		2 Webサイトの評価と改善	2	・CSSの意義や概念を理解する。	提出課題		○	○
	第4章 コミュニケーション							
11月	1 コミュニケーション	1 発達の歴史	1	・メディアの発達史に関する知識をもつ。	行動観察	○		○
		2 さまざまなコミュニケーション	1	・目的に適したコミュニケーションの方法を理解する。	ノート	○	○	○
		3 ネットワークのコミュニケーション	1	・コミュニケーションツールの知識をもつ。		○		○
		4 ルールとマナー	1	・電子メールや電子掲示板を利用する際のルールやマナーの知識をもつ。			○	○
2 ネットワーク	1 ネットワークの特性	1	・ネットワークの通信方式の相違を判断できる。	行動観察	○		○	
	2 インターネットの仕組み	2	・インターネットのプロトコル及びLANの基本知識をもつ。	提出課題		○	○	
	3 インターネットのサービス	1	・インターネットの基本的なサービスの内容と利用方法を理解する。		○		○	
	4 転送速度とデータ圧縮	2	・効率的にファイルを圧縮して転送できる。			○	○	
後期中間考査		1		考査			○	
12月	1 情報の管理・保護に関する法律	1 知的財産権	2	・著作権などの侵害事例で、どの権利を侵害しているかを適切に判断する。	行動観察		○	○
		2 さまざまな法律	2	・インターネットに係わる各種法律を理解する。	提出課題	○		○
1月	2 情報セキュリティ	1 情報セキュリティ技術	2	・ウイルス対策など、情報セキュリティを確保するための対策をとることができる。	行動観察	○		○
		2 情報セキュリティポリシー	1	・情報セキュリティポリシーの概要や意義について理解する。	ノート	○		○
2月	1 情報システムと人間	1 社会における情報システム	1	・社会における主な情報システムの種類と内容について理解する。	行動観察	○		○
		2 人に優しい情報システム	1	・ユーザビリティやアクセシビリティに関する知識をもつ。	提出課題		○	○
		3 情報社会の課題	1	・課題に沿って簡単に説明をまとめる。		○		○
		4 問題解決の手順	1	・問題解決の手順と解決するための工夫を理解する。	行動観察	○		○
2月	2 問題解決	2 問題解決の手法	2	・情報収集・整理・分析に必要なものを判断する。	提出課題		○	○
		3 データベースの利用	1	・統計処理の手法を理解する。		○		○
		4 問題解決の実践	3	・表計算ソフトを利用して統計処理とグラフ化ができる。			○	○
		学年末考査	1		考査			○
合計時間数			70					

Ⅲ 評価規準と単元計画（社会と情報）〈例〉

1 『社会と情報』の目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 『社会と情報』の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。

3 「(1)情報の活用と表現」の目標

情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報とメディアの理解、情報のデジタル化に必要な知識と技能の習得及び情報のデジタル化の理解とともに、適切な情報の表現と伝達に必要な基礎的な知識と技能を習得させる。

4 「(1)情報の活用と表現」の評価規準に盛り込むべき事項

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報とメディアの特徴や情報のデジタル化に関心をもち、積極的に情報機器や素材を利用して、情報を分かりやすく伝達しようとする。	身近な例での「もの」の特徴との対比で情報の特徴を考え、適切に情報の信頼性や信憑性を判断して、伝えたい情報を分かりやすく表現している。	コンピュータや情報機器を活用して多様な形態の情報を統合し、伝えたい情報を分かりやすく表現するための技能を身に付け、活用することができる。	情報の信頼性や信憑性の評価、情報のデジタル化の仕組みや情報機器の適切な選択に関する知識を身に付け、それらを活用する際の配慮事項を理解している。

5 単元指導計画

単元名	情報とメディア	時間数	5
-----	---------	-----	---

◇単元の目標

情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。

◇単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの情報を積極的に収集しようとする。	情報の特徴と情報科が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現し、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現し、情報の特徴と情報科が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。

◇学習活動における具体的評価規準と評価方法

関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技能		知識・理解	
①	情報やメディアの種類や構成に関心がある。	①	メディアの特徴と身近な事例を関連付けて考えている。	①	情報の信憑性や信頼性を調べるための技能を身に付けている。	①	情報やメディアの特徴、分類、特性について理解している。
	行動観察		行動観察		行動観察 提出課題		提出課題 考査
②	グループでの話し合いに積極的に参加している。	②	身近な事例について、メディアリテラシーの観点から整理している。	②	伝えたい情報を、選択したメディアを使って、適切に表現することができる。	②	情報の信憑性や信頼性を理解している。
	行動観察		提出課題		提出課題		提出課題 考査
③	課題の解決に対して、積極的に取り組んでいる。	③		③		③	
	行動観察						

◇指導と評価の計画

授業番号	単位時間数	主題	学習目標と主な学習活動	具体的評価規準との対応(番号)				備考
				関	思	技	知	
1	1	情報の特徴	情報の意味及び情報の特徴について理解する。	①			①	
2	1	情報とメディア	メディアの特徴、分類、特性について理解する。	①	①		①	
3	1	情報の信憑性と信頼性	情報の信憑性と信頼性を理解して、情報を利用できる。			①	②	
4	1	メディアリテラシー	メディアによる情報の意図の違いについて理解する。	②	②			
	1		伝えたい情報を、適切な情報メディアを選択して取り扱うことができる。	③		②		

IV 学習指導案（社会と情報）＜例＞

科目名	社会と情報	指導者	〇〇 〇〇	実施日	△△年△△月△△日 (△)				
指導クラス	〇年〇組 〇〇名 (男子〇名、女子〇名)		場所	コンピュータ教室					
単元名	情報とメディア		使用教材						
主題	メディアリテラシー		4 時間目 / 5 時間数						
本時間の学習目標			メディアによる情報の意図の違いについて理解する。						
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価				評価方法
					具体的評価規準との対応				
					関	思	技	知	
導入	5	本時の目標の提示	本時の目標「情報が持つ意図を理解しよう」を提示する。 宿題の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事前に決めたテーマの話題が掲載されている新聞やネット等の情報を印刷して持ってくるよう宿題を出しておく。 指導者も、事前に複数の新聞等で情報収集する。 					

展 開	35	メディアが伝達する情報の違いの調査 (グループ)	<p>各生徒が持ち寄った情報について、「同じ事実で書き方が異なっている情報」がないか、グループで調査させる。</p> <p>特に気になった情報をグループごとに1つ選ばせる。</p> <p>選んだ情報についてインターネットで追加調査を行わせる。</p> <p>選んだ情報のまとめを、各自が提出用ファイルに入力して保存させる。</p>	<p>②</p> <p>・持ち寄った情報だけでは比較できない場合には、指導者の持っている情報を提供する。</p> <p>・その情報が出された日時も記録させる。</p>	②	②	②	②	行動観察
		発表	<p>グループでまとめた結果を、代表者に発表させる。</p>	<p>・発表にあたっては、「〇〇について調べたところ、〇〇では△△と書いてあったが、別の◇◇では▽▽とあった。」のように、簡潔な表現で発表させる。</p>	②	②	②	②	提出課題
		メディアにより情報が異なる原因	<p>各グループの発表を基に、異なる情報伝達となる原因について挙手により、意見を発表させる。</p> <p>各自が原因を提出用ファイルに入力して保存させる。</p>	<p>・「時系列による違い」「立場の違い」「メディアの意図」などに気付かせる。</p>	②	②	②	②	提出課題
ま と め	10	メディアリテラシー	<p>情報は、メディアによって意図を持って伝達されることとともに、メディアリテラシーについて解説する。</p>	<p>・次回は、伝えたい情報を、適切な情報メディアを選択して取り扱う演習を行うことを予告する。</p>					